

小中連携を通して「総合的な学習の時間」で育てようとする資質・能力及び態度 四万十市立 具同小学校・中村西中学校 系統表【試案】

		小学校3学年	小学校4学年	小学校5学年	小学校6学年	中学校1学年	中学校2学年	中学校3学年
C 学びに 人間性 に向かう 力	①自分自身を理解し生き方を考える力	○自らの生活の在り方を見直し、実践することができる。(ア)		○相手の立場や意図を考えながら話し合うことを通して、他者の意見を受け入れ、誰とでも協力して課題を解決することができる。(イ)			○良好な人間関係を構築でき、他者と協働しながら課題解決の中で、考えを広げ、深めることができる。(ウ)	
	②意思決定し行動する力							
	③社会(人)と関わり合う力	○課題の解決に向けて、目標を設定し、行動できる。(エ)		○地域の環境や人々の生活に興味や関心を持ち、課題解決のために、地域と進んで関わるることができる。(オ)			○社会の一員としての意識を高め、課題解決に向けて提言や活動を考えることを通して、社会活動に参画することができる。(カ)	
B 思考力・ 判断力・ 表現力等	①課題を設定する力	○日常生活を振り返ったり、体験活動をしたりする中で学習課題を見つけることができる。(ア)		○これまでの様々な体験や問題状況から新たな課題を設定することができる。(イ)			○社会における問題状況の中から、自分の追究したい課題を設定することができ、検証方法を考えた計画を主体的に立案できる。(ウ)	
	②情報を収集する力	○身近な範囲から課題に合った情報を集めることができる。(エ)		○多様な情報を収集したり、情報収集の手段を目的に応じて選択したりすることができる。(オ)			○目的に応じて情報収集の手段を選択し、課題解決に必要な情報を効率的に収集できる。(カ)	
	③整理・分析する力	○課題を解決するために収集した情報の共通点を整理することができる。(キ)		○課題解決のために収集した情報を整理し、比較したり、関連付けたりしながら分析することができる。(ク)			○課題解決を目指して収集した情報を整理し、さらに事象を比較したり、関連付けたりしながら多角的・多面的に分析できる。(ケ)	
	④まとめる力、表現する力	○自分が最も伝えたいことを中心にまとめることができ、相手に分かりやすく発表することができる。(コ)		○相手や目的、意図に応じ、調べたことを分かりやすく伝えるための方法を考え、構成を工夫してまとめ、発表することができる。(サ)			○相手や目的、意図に応じ、調べたこと、自分の考えや意見等を、分かりやすくまとめ、相手に伝える効果的な技術や方法を工夫して発表できる。(シ)	



A 知識及び 技能	①各教科で習得した知識及び技能を生かす力	○身近な動植物には、色、形、大きさなどの違いがあり生育の環境が異なること。(ア)	○各地域では、それぞれ環境が異なり、人々の暮らしもそれに合わせて変化していること。(イ)	○地域には素晴らしい自然、文化、産業があり、それらは地域発展のための資源となりうること。(ウ)
	②総合的な学習で獲得した知識及び技能	○身近な自然において、生物はその周辺環境と関わり合ったり利用したりしながら生きていること。(エ)	○人々は地域の自然とうまく共存し、自然の中から得られる産物を利用して生活していること。(オ)	○地域の産業はその地域を愛する人々の思いの上に成り立っていること。(カ)
		○自然環境は、多様な要因で常に変化する可能性があり、一定ではないこと。(キ)	○地域の暮らしは、長い時間の中で人々が繋がり形成された、風土や文化の上に成り立っていること。(ク)	○地域の未来はこれからの地域の担い手である自分たちにかかっていること。(ケ)
カテゴリー	探究的な学びを楽しみ、地域に目を向ける時期	探究的な学びを通して、社会に目を向ける時期	探究的な学びを深め、自分を見つめる時期	